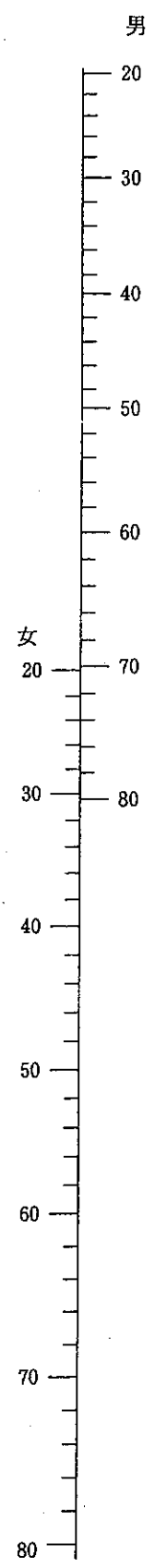


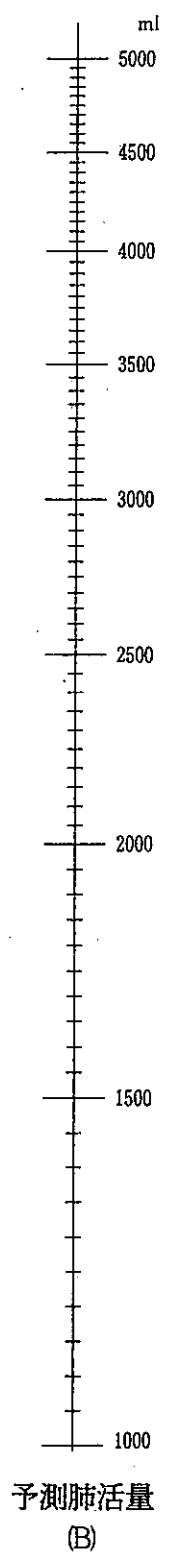
6 その他の臨床所見

ノモグラムの使い方

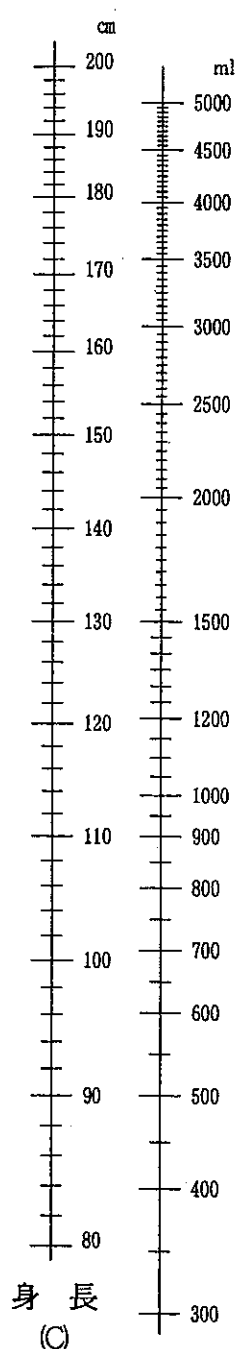
- 1 (A) と (C) から、(B) 上に Baldwin の予測式による予測肺活量が得られる。(B) と (D) から (E) 上に予測肺活量に対する 1 秒率が得られる。
- 2 (D) を 1 秒量の代りに実測肺活量とすれば、(B) と (D) とから (E) 上にパーセント肺活量が得られる。
- 3 (B) に実測肺活量を代入すれば、(B) と (D) とから (E) 上に通常の 1 秒率が得られる。



年齢・性別
(A)

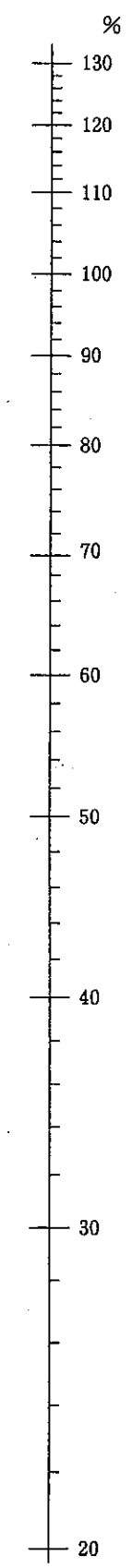


予測肺活量
(B)



身長
(C)

1秒量
(D)



指数
(E)

【 診断書作成の留意点（呼吸器機能障害） 】

- 1 身体障害者診断書・意見書1枚目の総括表「④参考となる経過・現症」には、治療の経緯（手術を行った場合は、その名称や日付等）を詳細に記入してください。
- 2 呼吸器の機能障害の状況及び所見の「4 換気機能」をご記入いただく際は、数値にご注意ください。特に計算間違いのないようにしてください。
- 3 呼吸器の機能障害の状況及び所見の「5 動脈血ガス」の各項目の値を必ず記入してください。酸素飽和度（SpO₂）のみでは、障害の程度が正確に判断できません。

- * 以上の項目について未記入であった場合、作成した指定医師に返戻することになります。
- * 等級決定は、提出された障害程度（呼吸器機能障害の状況及び所見等）を検討して市長が行います。等級欄への等級の記入は、あくまでも参考意見でありますのでご注意ください。